

## 2024年度第9回NPO法人共同保存図書館・多摩理事会

1 日時：2025年2月6日（木）午後8時から9時30分

2 方法：ZOOM アプリを媒介にしての遠隔会議

3 議決権のある理事：9名

出席者：座間直壯、雨谷逸枝、清田義昭、齊藤誠一、田中ヒロ、中川恭一、堀 渡

欠席者：小池信彦、保坂一房

事務局員の参加

(1) 第1号議案 会員の動向について

### 【報告】

- ・2月6日（本日）現在
- ・正会員：個人77、団体2（計79） ・賛助会員：個人27、団体2（計29）  
合計：個人104、団体4（総合計108名・団体）
- ・この数は、第3回理事会（昨年5月21日）の際の報告から変化していない。
- ・年度末近くなったので、会費の納入状況や会員数の見通しなどを報告する。
- ・今年度限り（年度末）での退会を申し出ている賛助会員が1名いる。また、年度末までこのままだと、2年間の会費未納で資格を喪失する正会員が2名いる。

(2) 第2号議案 第2回多摩地域ライブラリアン講座の進捗状況について

### 【報告】

- ・10名の受講者に対して、講座を続けている。
- ・1月20日（月）と27日（月）に、一日がかりのオンライン講座を行った。
- ・11コマの講師による質疑応答と追加の講義。少人数ずつに分かれて短時間でシャッフルする受講生と講師の懇親。そして受講生から、図書館で行いたい事業企画の発表会。一部、都合による遅刻や退席者はいたが、受講生は全員が参加した。
- ・10月からのオンデマンド講義は個人が画面と向き合う孤独な受講だったので、この質疑応答や追加講義はZOOM越しではあるが、手ごたえの感じられる時間だった。一部の時間には参加できない受講者がいたので、あとで録画を提供した。
- ・受講者は、この日に事業企画案を発表するため、11月から3班に分かれ、座間、中川、堀、小池をアドバイザーにZOOMによるワークショップを行い、企画内容と発表の仕方を練り上げてきた。それを27日午後に全員が発表した。
- ・今回は、受講生の職歴や現在の立場は多様で、それもあって様々な企画が発表された。
- ・受講生はその後、2月28日を提出締切日として、発表企画を元に4000字程度の修了レポートを執筆中。各アドバイザーは、時期を見計らって進捗状況の声掛けをする。
- ・今後の予定としては、修了レポートの提出、修了式、会計処理などがある。
- ・修了式は3月24日（月）の予定で、見学会などもできる会場で行いたいと検討中。

(3) 第3号議案 府中市立図書館の蔵書目録中、I S B N未記載の書誌へのI S B Nの機械的推定と検証作業（一般書）について

【報告】

- ・ボランティア3名と事務局員（+理事長）の計7名で、300件のI S B N追加付与候補のデータを検証してきた。二回目締切の1月30日までに全員から提出された。
- ・昨年秋に、事務局員（+理事長）で200件の検証を先行実施しており、今年度は合わせて500件になる。現在、結果を点検中だが、大きな問題はなさそうである。
- ・説明資料やマニュアルが整い、ボランティアとの共同作業もこなれてきた。
- ・事務局員とボランティアの合同で、反省や感想などを出し合う意見交換会を遅くならないうちに行っていきたい。

【討議】

- ・これまで行った一般書、児童書、地域資料を含めた作業の総括をして、（株）カーリルの方でもどんな成果があったか、どういう問題点見えてきたかということを整理し報告書にするようなことが必要かと思う。それらを受けて、今後どうするかが議論して行ければいいかと思う。

(4) 第4号議案 継続中のその他の事業の進捗状況について

【報告】

① 多摩ブックレット第17号

- ・昨年5月の総会記念講演会の田中久徳氏の講演を元にしたブックレットが完成した。
- ・タイトルは、『「国の蔵書」を自在に利用できる時代へー公共図書館の未来と国立国会図書館の役割ー』。本体価格1000円、従来と同じ54p、1000部発行。
- ・予定より早く出来たので、会員発送用などの部数以外は、事務所に運んである。

② 図書館資料の里親探し

- ・東大和市の図書館から『新聞集成明治編年史』（揃い）と同『昭和編年史』（端本）の提供の申し出があり、多摩地域内の図書館の所蔵を調べてそれを伝えながら、引き取って活用したい図書館を募集してきた。
- ・あきる野、青梅、調布、三鷹、町田から、『昭和編年史』を欠本の補充や汚破損本取換えのために使いたいと申込みがあった。希望する巻に重複があり、あきる野、青梅、調布に渡すことになった。東大和からの申し出は31冊。活用の成立は14冊。
- ・2月7日に東大和に回収に行き、同日中に配達できる範囲で回る予定。

③ 館長協議会の図書館サービス研究会に依頼して実施している、「TAMALAS一括処理システム活用状況のアンケート」について

- ・「TAMALAS一括処理システム」活用はまだ増えていないが、普及と利用拡大の

ために、＜ID、パスワードを取得した自治体はどのくらい実際に使っているか？＞  
＜使った上での手ごたえは？＞＜未取得の自治体はその理由や、このシステムに対する  
関心は？＞などの調査を「サービス研」を通し全自治体にやってもらっている。現  
在、会長市の三鷹で回答を集約中。2月6日現在、17自治体から回答が来ている。

- ・回答締切りは2月10日。督促も含め、集約にはもう少し時間がかかる見込み。

#### (5) 第5号議案 第44回多摩デポ講座「田中久徳氏の講演会」の開催について

##### 【提案】

- ・ブックレットが完成したので講演会の準備を進めたい。要領を提案する。
  - ・開催日時：3月22日（土）午後2時～4時30分
  - ・会場：東京都公文書館研修室（定員60名）
  - ・参加費：500円
- ・会員には『通信』に同封して、ブックレットやチラシを送る。多摩地域の図書館へは、  
『通信』掲載の記事や同封のチラシによってPRを行う。
- ・今後、公共図書館と国立国会図書館が手をつなぎ、どんな方にもどんな資料でも見せ  
られるようになりたい。図書館の資料は、共有された「国の蔵書」である。手をつな  
がないとそれが完成しない、というようなことを話していただく予定。
- ・普遍的な内容なので、多摩の図書館以外へも積極的に広報していきたい。
- ・講演タイトルの案は「公共図書館の未来と国立国会図書館の役割」だが、この場でご  
意見を頂きたい。

##### 【討議】

- ・講演内容やタイトルについて
  - ・ブックレットのタイトルと同じだが、それをさらに深めた話をしてもらおうというな  
ら、それでよろしいのではないか。
  - ・やはり副題に「国の蔵書を自在に利用できる時代へ」を入れたほうがいい。
  - ・「国立国会図書館が進化する中での公共図書館の役割」などとしてもいい。
  - ・講師は、NDLのデジタル化の動きに様々に関わって、ここまで持ってきたという  
ことがある。ここまで来た中で、NDLの意義や役割を改めて確認したいというよ  
うなことだと思う。
  - ・今、NDLと公共図書館の関係の変わり目なのではないか。20世紀の出版物までが  
まもなくデジタル化が終わって個人に向けて送信するという状況で、公共図書館が  
蔵書を持ち続けていく意義をしっかりと自覚して取り組んでいかないと、個人送信で  
済ませられるなら、それでいいじゃないかという声の外から出てきそうだというこ  
とをとっても心配しておられる。
  - ・そうすると、今まで地域の公共図書館が、遠くに行けない人や目が見えない人など  
にも提供できるようにしてきた努力が薄れてしまう。そんなにしなくてもいいので

- ないかとなることをとても気にしておられる。課題や危惧に私は気が付かされた。
- ・建設して何十年かが経ち、建替えや市内配置の再編の動きがあちこちで起きている。公共図書館はいま自覚的に振舞わないと、本当になくなってしまわないか。
  - ・公共図書館自身が考えないと。NDLから古い本は発信されて便利になるのだから、改めて公共図書館を地域で整備しなくてもいいじゃないかと自らを合理化してしまうようなことがあり得る。だからこそ、まず公共図書館の人たちに話しかけたいというようなことだと思う。
  - ・ブックレットを読むと、公共図書館に期待するというニュアンスで書かれている。講演タイトルはご本人に相談します。
  - ・講師への質問の取りまとめについて
    - ・理事・事務局員は、ブックレットを読んで感想を出し、講演で話してもらいたい追加内容や質問を取りまとめ、講師に事前に伝えておく。
  - ・講演のオンライン配信や録画について
    - ・講演内容を大勢に聞いてもらうには、従来の会場参加のほかに、講演を配信するという手法がある。そういう方法も取るかどうかということも議論した。
    - ・技術的には十分に可能で、ハードルは高くないことが分かった。
    - ・結論的には、準備と当日の運営にもあたる今の人員では、同時配信までをリスクなく行うのは難しいだろうということになった。会場に来て講演を聞いてもらうことを優先する、ただし講演はビデオに録画させてもらっておく。その録画をパワポの資料等とともに、後日にどう活用するかは考えていきたい。

(6) 第6号議案 第45回多摩デポ講座「図書館長のお話を聞く会」の開催について

【提案】

- ・館長協議会の「サービス研」会長の三鷹市の大地（おおち）館長と、前会長である東大和市の浴（えき）館長に登壇してもらい「図書館長のお話を聞く」座談会を開催する。
- ・開催日時：3月29日（土）午後2時～4時、東京都公文書館研修室
- ・大地館長は、3月に定年退職となる。講演に出るなら議会開けにしたいという希望があり、第44回講座と続けた年度末の日程になった。
- ・参加費：500円
- ・大まかな内容は？
  - ・図書館で選んで除籍した本は、まず市民配布するが、それでも残る本がある。その本を自分は捨てられないと、大地館長の机の周りにはそれが山積みになっている。館長の本や図書館に対する想いやこだわりを語っていただく。いろいろな話を引き出せそう。浴館長には、「サービス研」つながりの話や「除籍資料ガイドライン」の話をしていただく。浴館長が会長だった時に、「ガイドライン」を館長協議会としてオーソライズした。そのあたりも含め、資料保存について語っていただく。

- ・中川理事が二人の話を引き出し、結びつける役割をする。
- ・タイトルは？
  - ・「除籍本が片付かない（叫）！ それなら私にお任せください」図書館長座談会、まだお二人に了解をとっていないが、こういう題を考えている。
  - ・普通に題を付けると固い題になり抽象化してしまうが、「除籍本が片付かない・片付けられない叫び、その話なら私はこう応じます」というような実務の館長の声を本音で話してください、それが題になれば、チラシを見た人も理屈や建前の話じゃないと、参加の促しになるのではないかと考えた。

#### 【討議】

- ・館長の人柄を見込んで、さらに言いたいことを言ってもらえるのではないかと判断して、題を付けたのではないか。
- ・これで両館長がOKしてくれればすごくいい。

#### (7) 第7号議案 『多摩デポ通信』第70号の発行について

##### 【提案】

- ・第44回、第45回多摩デポ講座の案内を載せ、二つの講座チラシを同封し、完成した『多摩デポブックレット』第17号を会員には同封して送る『多摩デポ通信』第70号を、2月中旬には発行したい。
- ・下記のような内容で原稿を依頼し、現在、編集中である。
  - 理事長の年初の挨拶
  - 12月に行った第43回多摩デポ講座の報告
  - 『多摩デポブックレット』第17号の紹介
  - 第44回多摩デポ講座の内容紹介とお誘い
  - 第45回多摩デポ講座の内容紹介とお誘い
    - (→ この二つの講座のチラシをA4判の両面で、別刷りで作成する)
  - 進行中の事業の報告
    - ・府中市の目録へのISBN付加・検証
    - ・第2回多摩地域ライブラリアン講座
    - ・「図書館資料の里親探し」 東大和からの提供と3自治体での活用へ
  - 「2023年度都道府県立図書館の「県」域内市町村立図書館への図書資料の保存の取組」（次号と2回に分けて掲載）
  - 東京市町村自治調査会の新資料室の構想作りに参加して
  - 都立中央図書館の移転（速報…館長連絡会の情報も合わせて）
- ・理事会でまだ話せていない新たな話題として、最後に入れた東京都立中央図書館の移転問題がある。昨年12月に新聞報道が突然されて浮上した。大事な問題なので、速

報として、書ける範囲のことを入れておきたい。

**【討議】**

- ・盛りだくさんだが、ページ数は8ページで収めたいという。講座の広報を早く始めた  
い事情、会員へ早めに『多摩デポブックレット』を同封して送りたい事情があり、こ  
ういう紙面で2月中旬には発行したいという。
- ・理事会として了承した。

(8) 第8号議案 2025年度通常総会の準備の開始について

**【提案】**

- ・4月から新年度になる。新年度が始まって2ヶ月以内には、年度総会を開催しNPO  
法人を管轄する東京都生活文化局に届けられる内容を持たねばならない。総会に提案  
する内容の検討を始めたい。
- ・今度の総会では、2年に一度の理事、監事の選任も行う必要がある。
- ・定例理事会で審議してもらおうなら、2月の理事会に事務局から内容を提案しなければ  
ならなかったが、準備が間に合わなかった。
- ・事務局では、早急に総会議案書作りの検討を始める。まず2024年度活動報告(案)  
から理事会への提案を作り、その後、2025年度活動方針(案)を作っていく。
- ・理事会は、事務局からの提案を元に審議して総会議案書の内容を決定する3月～4月  
の開催を予定してほしい。定例ではないが、まずは3月上旬頃までに理事会を一度開  
いてほしいというのが、8号議案の提案です。

**【討議】**

- ・たとえ事務局で議案書案がすっかり用意できても、理事会で一度に全部を審議するの  
は無理。
- ・まず3月7日に、主に2024年度活動報告や、講師を頼まねばならない記念講演会の  
ことを審議するために理事会を開くことにする。

(9) 情報交換

- ・(現在は港区広尾にある)東京都立中央図書館の渋谷区神宮前への移転について
- ・東京都立図書館が主催し、都内の区市町村立図書館の館長が集まる図書館長連絡会が  
行われたようだ。どのような説明が行われたかは分からない。

**【多摩デポ関係記事】 【共同保存図書館関連論文、記事】**

- ・特になし

**【今後の予定】**

- ★ 事務局会議(2024年度第15回)                    2月21日(金)午後8時より、(Zoom会議)
  
- ★ カーリルとの共同研究 定例会                    3月5日(水)午後8時より、(Zoom会議)
  
- ★ 次回理事会 第10回理事会                    3月7日(金)午後8時より、(Zoom会議)

議事録署名人の選任

議事録署名人として2名を選任することを諮り、清田理事、田中理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2025年2月6日

議長                    座間 直壯

議事録署名人        清田 義昭

議事録署名人        田中 ヒロ